

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術Ⅱ	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな介護場面における専門職としての適切なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・利用者・家族・多職種としてのコミュニケーション技術を習得する。 				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな症状や障害を理解し、それに応じたコミュニケーション技法を学ぶ。 ・専門職としてのチームコミュニケーション能力を習得する。 ・介護における家族とのコミュニケーションを理解する。 				
DPの観点	①聞く力(20) ②表現力(20) ④協調性(20) ⑥専門知識・技能(40)				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの習熟と専門用語を調べる。 ・予習・復習はそれぞれ2時間程度行うこと。 				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わりまたは次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業時間内、決められた期日までの課題提出と、定められた基準を満たすことが単位認定要件となる。				
評価の方法・割合(%)	期末試験(60) レポート課題(20) 提出物等(20)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。 遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			「家族との関係づくり」	①②④⑥	コミュニケーションカード
2			ICF視点とコミュニケーション技術	①②④⑥	コミュニケーションカード
3			「家族への助言・指導・調整」「家族関係と介護ストレスへの対応」	①②④⑥	コミュニケーションカード
4			ジョハリの窓 オノマトペ	①②④⑥	コミュニケーションカード
5			認知症者へのコミュニケーション方法	①②④⑥	コミュニケーションカード
6			「チームのコミュニケーションとは」	①②④⑥	コミュニケーションカード
7			専門職の記録方法	①②④⑥	コミュニケーションカード
8			「報告・連絡・相談の技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
9			「記録の技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
10			「会議・議事進行・説明の技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
11			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援1～4	①②④⑥	コミュニケーションカード
12			「事例検討に関する技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
13			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援5～6	①②④⑥	コミュニケーションカード
14			「情報の活用と管理のための技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
15			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援8～11	①②④⑥	コミュニケーションカード
期末試験			まとめと確認		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第5巻「コミュニケーション技術」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--